

テーマ

春日は一つ三つの輪

目標

- 園児・児童・生徒が主役として活躍するフェスタを地域と協働して取り組む。
- 各校園が地域や校園で交流する活動に取り組む。
- 各校園が積極的に地域人材を活用するボランティア事業（図書館活性活動、園芸作業、清掃活動等）に取り組む。

今年度の取組紹介

重点的な取組である「せいびっ子祭り」、「スポーツフェスタ in せいび」、「大安寺フェスタ」、「済南ふれあいフェスタ」、「春日ふれあい文化祭」などのフェスティバル事業を、校区内の小中学校において開催しました。この取組は、地域・学校・家庭（保護者）が協力して企画運営を行っています。園児・児童・生徒が主役としていきいきと活動し、地域の方々とふれあえる場、学校園の枠組みをこえて交流できる場となっています。



「春日ふれあい文化祭」

また、青少年の健全育成を願い、地域の様々な立場の方々が集まって情報や意見の交流、研修などを行う「地域別懇談会」が年3回開催されており、今年で100回の節目を迎えることができました。それを記念して、大阪芸術大学演奏学科非常勤講師でマリンバ奏者の松本真理子先生においでいただき、「地域力を大切に！」というテーマで講演いただき、マリンバ演奏も披露していただきました。



「第100回記念地域別懇談会」

今年度のまとめ

各フェスティバル事業については、子どもたちが主役となり、目を輝かせながら地域の方々と共に活動している様子が見られました。そして、普段では経験できないような様々な体験を通して、子どもたちと地域の方々ととの交流を深めることができました。地域の方々の「地域の子は地域で育てる」という意識のもと、「子どもたちのために」協力し取り組んでいただいている姿から、子どもたちは、地域の方々に見守られ育てられていることをあらためて実感することができました。また、地域と学校、家庭（保護者）の連携のための「地域別懇談会」も、100回を数えることができたのも一つの成果となりました。

来年度に向けて

今年度まで続けてきた事業をさらに発展させ、継続することによって、地域との連携をさらに深められるように取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

春日ステッププラン

目標

地域の方々との関わりを通して、「役に立っている」「必要とされている」「自分にも出来る」という思いを持たせ、自尊感情を醸成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

今年度の取組紹介

今年度は、学習への意欲回復と基礎学力の向上を目指した放課後学習会「わかるわかる学習会」、生徒たちが普段取り組んでいる部活動を通して地域の方々と交流する「出前で部活」事業、さらには各種の「体験学習」などに取組ました。

特に、「わかるわかる学習会」は、火曜日と木曜日の放課後に行う学習会で、本校の卒業生や地元の大学に通う大学生を指導者として来てもらっています。学習会は、基礎学力の定着を図る「こつこつコース」と発展的な内容に取り組む「どんどんコース」の2コースがあり、生徒たちは自学自習を基本として学習しています。

また、「出前で部活」は、地域の小学生や福祉施設のお年寄りの方々との交流することにより、生徒たちが普段学校では体験できないような様々なことを感じ取り、学べる場となっています。さらに、地域の方々との触れ合いが、つながりを深める良い機会にもなっています。



「わかるわかる学習会」



「出前で部活」

今年度のまとめ

「わかるわかる学習会」は、生徒たちが「勉強がわかるようになりたい・できるようになりたい」という思いをもち、自分の力にあった教材を使用して粘り強く取り組むことができました。また、生徒たちにとって、年齢の近いボランティアスタッフの存在は、自分の進路を考える上で身近な良いモデルとなっていました。また、「出前で部活」事業は、生徒たちが日々取り組んでいる部活動を通して、地域の方々との触れ合うことができ、「役に立っている」といった自尊感情を醸成するうえで成果が上がりました。

来年度に向けて

本年度の取組を踏襲した「学習への意欲回復と基礎学力の向上、自尊感情の醸成と自立・共生の集団づくり」を目指し、「わかるわかる学習会」、「出前で部活」事業、各種の「体験学習」などの取組を進めていきたいと考えています。

テーマ

奈良大好きせいびっ子

目標

済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）を各学年で実施する。

心豊かな子どもを育てるため地域の教育力を生かすとともに、教育環境を整備する。

地域の伝統や自然を愛する心を養い、それらを守り育てていく態度を養う。

今年度の取組紹介

2年生 「わくわくさんぽ せいびの町」

自分が見つけた「済美の町のすてきな所」を紹介し合い、全員で町探検をしました。済美の町にはすてきなところがいっぱいあることを知りました。その後「町の達人」を探しに出かけ、徳融寺さん、お寿司屋さん、うどん屋さんなど、数ヶ所をグループ別で探検し、「町の達人」発表会で保護者に紹介しました。この人たちと触れ合い、探検させてもらって、済美の町にはすてきな人がいっぱいいることを知り、子どもたちはますます済美の町が好きになりました。



6年生 「未来に残したい「新・南都八景」を見つけよう」

江戸時代、奈良の美しい風景をとされた南都八景について知り、実際に現地に行って調べてみると、今はもう見られない風景もあることが分かりました。そこで、現代の「新・南都八景」を設定するため旅行者や保護者などから、アンケートをとり、未来に残したいと思う8つの風景を選びました。選定するにあたって、各自がその風景について調べ、身近なところにも美しい風景がたくさんあることに気づき、大切に守っていききたいという意欲をもつことができました。



今年は、千葉県柏市立第二中学校や早稲田実業学校初等部など県外の学校と、奈良公園内で交流学習を行うことで、世界遺産を守る重要性を広く伝えていくことができました。

今年度のまとめ

本年度も「済美で学んだことを誇れる子ども」を育てるため、済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）に全学年で前年度までの成果を生かしながら取組をすすめました。学校評価アンケートでの「特色ある学校であるか？」との項目には保護者から世界遺産学習に対して高評価をいただきました。お世話になる地域の方々に、よりわかりやすく説明をしていただき、こんなにすてきな地域や奈良を守っていききたいという思いが、児童の中に定着してきています。

来年度に向けて

地域による学習活動を支援していく教育力をお借りして、今までからこのような学習活動をすすめてきました。児童のみならず、保護者も地域の方々の力添えに感謝しつつ、絶えず新たな済美・奈良の「もの・こと・人」を見いだし発信することで、「済美・奈良を誇れる子ども」を育てる学習を進めていきたいと考えています。

テーマ

大安寺っ子、地域で学び、つながろう！！

目標

校区・地域におられる様々な方々との出会いや触れ合いを通して、人と人がつながることの大切さを学ぶとともに、地域社会から学ぶことの大切さを身に付けることを目標に事業に取り組む。

今年度の取組紹介

「地域・仕事に学ぶ」事業においては、4年・5年生は、伝統文化で着物の着付けや作法を学び、6年生は、美容師・運動療法士・フローリスト・カラーコンサルタント等いろいろな職業の方から仕事の内容や大切にしていることなどを学び、今自分達が何をすべきか・何ができるかを考えることができました。



「大安寺から学ぶ」事業においては、地域の民生委員・万年青年クラブなど各種団体の協力のもと多くの人との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流を深めました。1年生では、あやとり・竹馬・おはじき・けん玉などの昔の遊び、2年生では、大安寺を見学しての世界遺産学習、3年生では、農家の暮らし・昔の暮らしを子どもたちが直接地域に出向きカメラやビデオで記録したりインタビューしたりするなど、直接地域から学ぶことができました。



今年度のまとめ

読書環境の整備活動など、日々の活動の積み重ねで、週1回の朝読書や「お話の会」の読み聞かせでも、集中して読んだりお話を聞いたりする児童の姿が多くみられるようになり、読書に親しむ機会が広がりました。また校庭の環境整備など着実に進んできました。

多くの「地域の人」との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流が深まり、子供たちが顔見知りになり、あいさつできる児童が増えました。また万年青年クラブの方々からは、児童と交流することで『元気になれ、楽しい』という声をいただきました。今後もこの取組を大切にしていきたいと思えます。

来年度に向けて

校区・地域におられる様々な方々に来校していただいて、地域の事や、伝統・文化・いろいろな職業について学び、地域社会から学ぶことの大切さを身につけ、いろいろな職業や生き方を知り、自分らしい生き方をするための能力や態度を育てたいと思えます。

テーマ

子どもでつながる「チーム済南」

目標

各学年に応じた体験活動や環境整備事業、学習支援事業等での地域の方々とのふれあいを通して、大きな声で元気よく挨拶をすること、友達の意見をしっかり聞くこと、掃除を丁寧にすることに取り組み、自尊感情を高める。

今年度の取組紹介

今年度、「チーム済南」は、これまでの取組をさらに拡大して、球技クラブ、家庭科クラブ、カラムクラブで、クラブボランティアとして地域の方に教えていただきました。また、例年行っている昔遊び教室や絵手紙教室では、昨年度より多くの方にご協力いただき、学習支援ボランティアとして子どもたちに指導していただくことができました。

ボランティアの方々は、子どもたち一人一人に寄り添い、子どもたちの思いを受け止めながら、それぞれの活動にたいして、子どもたちに丁寧に助言していただきました。子どもたちは、優しく教えていただけることで地域の方々との会話が弾み、楽しい活動を通して地域の人々のぬくもりを感じることができました。

地域の方々には、授業の様子や児童の真剣な態度にふれることで学校をより身近に感じていただくよい機会となりました。また、環境整備ボランティアが増えたことで組織がさらに強力になりました。夏の学校環境整備には、早朝からたくさんの支援者に集まっていただきました。暑い中にもかかわらず、樹木の剪定や花壇の手入れ等で、子どもたち、保護者、職員と共に汗を流し、隅々まできれいにしていただきました。また、児童会が計画・運営する石拾い集会の日に合わせて自主的に除草作業をしていただいたり、年間を通じて花壇の手入れを積極的にしていただいたりするなど、一年中きれいな花で子どもたちを喜ばせ、学校を盛り上げていただきました。



【家庭科クラブボランティア】



【学校環境整備】

今年度のまとめ

今年度も、これまでに引き続き、多くの方が「チーム済南」に加わってくさり、精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみをもって楽しく活動することができました。

子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感をもてるように取り組みを進めてきました。依然として課題は多いものの学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が部分的ではありますが、子どもたちの自信をもった行動に表れ始めています。

来年度に向けて

地域の子どもの命と安全を守る「チーム済南」の拡大を図るため、これまでの取組や成果をより積極的に地域に向けて発信できるようにホームページや学校便りを活用したいと思います。

テーマ

一緒に遊ぼう楽しいよ

目標

身近な環境を生かし、感動体験や人とのかかわりを通して、豊かな心と元気いっぱいの体を育む。

今年度の取組紹介

◆サッカークラブ

近くのサッカークラブのコーチを招き、月1回サッカークラブを始めました。最初の約束は、『転んだり出来なかったりしても泣かないこと』でした。ボールを使った遊びを楽しみながら、最後まで頑張る力を養っていただきました。1月には、“せいびワールドカップ”を開催し、保育参観として保護者の方に見ていただき、家の人から大きな声援を受けながら、ボールを追いかけていました。チームの友達と力を合わせたりルールを守ったりして、みんなで最後までやり遂げた充実感と満足感を味わっていました。



◆ならまち探検

園の近くには、“ならまち”をはじめ、世界遺産である元興寺や数々の文化財があります。自分が住んでいる町に親しみを持ってほしいと考え、“ならまち探検”を計画実施しています。四季や年齢に合わせて、十念寺・庚申堂・元興寺・南円堂等に出かけます。地域の方に安全・見守りをさせていただいたり、その場所の話をしていただいたりして、奈良のを知る機会となっています。一緒に参加された保護者の方からは、「こんな近くに世界遺産があつていいですね。」「この夏休みにいろいろ回ってみました。」と、親子で出かけるきっかけになっています。また、3学期には4歳児が春日保育園児と出かけ、交流が始まっています。



今年度のまとめ

- ・様々な経験から、思いやりの心・大切に作る心・挑戦する心等を感じて心豊かになり、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちをもてるようになりました。
- ・身近な環境や様々な人とのかかわりを通して、豊かな心が育ってきました。自分たちの住んでいる奈良の町の様子や、世界遺産などに興味関心をもち、毎回楽しみに出かけられました。

来年度に向けて

- ・様々な人と感動体験ができる指導計画や活動内容の見直し・工夫が必要です。
- ・地域の中の幼稚園として、子育て支援の拠点となり、幼児教育を発信していきたいと思ひます。

テーマ

笑顔でつなごう元気をひろげよう触れあいの輪

目標

地域の方々との交流を通して地域に親しみかかわりを深めながら心豊かな体験ができるようにする。また、保護者も共に運動遊びや絵本の読み聞かせ、その他のいろいろな活動にいきいきと心弾んで参加できるよう保育の工夫と充実をめざす。

今年度の取組紹介

○親子お茶会

年間3回講師先生を招き親子お茶会をしました。講師先生にお茶の道具や季節のお菓子の話を聞いたり、作法やお茶の点て方を教えていただいたりしました。落ち着いた雰囲気の中でのお茶体験は、子どもたちにとって心が安らぐ貴重な時間であり、また、家庭ではなかなかできない体験を親子で出来てよかったと、保護者からも好評でした。回を重ねるにつれお茶会を心待ちにし、講師の先生を見かけると、「お茶会、楽しみにしてたよ」と、園児の方から話しかける姿も見られるようになりました。講師先生とのかかわりや親子の触れ合いのなかで、日本の伝統文化を知り、良さに気づき、大切にしようという心を学ぶことができました。



○親子で鉄棒で遊ぼう

体操のインストラクターの方から親子での鉄棒運動遊びを教えてくださいました。体を柔軟に動かせるような動きや周りの友達とぶつからないように意識するような動きから始まり、すぐに子どもたちは夢中になりました。保護者の方も逆上がりの補助の仕方を教えてください、親子で逆上がりに挑戦しました。逆上がりのできなかった子が、インストラクターの方に教えていただいた方法でお母さんが補助することで、逆上がりができるようになり、親子で感動する場面もあり、楽しみながら鉄棒遊びに取り組むことができました。また、運動遊びの大切さを保護者にも知らせ、啓発することができました。



今年度のまとめ

さまざまな感動体験を計画的に積み重ねてきたことにより、幼児ひとりひとりの生活経験を広げることができました。親子での体験は、子どもたちにとって感動を一段と大きくし、心に残る経験となりました。また、保護者にとっても、子どもの育ちを十分に感じ、園の取り組みを理解してもらう良い機会ともなりました。園の活動の中に、保護者が無理なく子どもと触れあう機会をもったことで、保護者同士の連帯感も強くなったと感じられます。

来年度に向けて

今年度の様々な取り組みは子どもたちの心に響く体験となり、豊かな心の育ちにつながりました。豊かな体験を積み重ね、一人一人が輝けるようにしていくことは大切であると考えています。来年度も地域や保護者との連携をさらに密にし、多用な感動体験ができるようにしていきたいと思います。